

ふだんからの地震への備え

地震に強い家・弱い家

耐力壁が不足したり片寄っている家



耐力壁（筋かいが入った壁等）が少なかったり片寄っている建物は大きな被害を受ける可能性があります。

瓦の重い屋根の家



屋根をあまり重くすると大きな被害を受ける可能性があります。

上下階のバランスが悪い家



一階部分が車庫・ピロティーになっていたりすると、建物バランスが悪く大きな被害を受ける可能性があります。

老朽化している家



建物が老朽化していたりシロアリ被害を受けていると、材料の強度が低下し大きな被害を受ける可能性があります。

基礎に不備がある家



建物基礎が弱い場合、大きな被害を受ける可能性があります。

その他に

- 地盤が悪いところに建つ建物は、大きな被害を受けるおそれがあります。
- がけの付近あるいは斜面に建築されている場合は、地面が崩れて、建物が被害を受けるおそれがあります。

耐震診断してみよう

住まいの耐震性がどの程度か調査するのが耐震診断です。建物の状況等を調査し、耐震補強・改修工事の必要があるかを診断します。

木造住宅については、簡易耐震診断を手軽に自分でできる「誰でもできるわが家の耐震診断」が一般財団法人日本建築防災協会から提供されています。10の質問にしたがって、わずかな時間で住まいの耐震性が診断できて、住まいのどの部分が地震に対して弱いのかを知ることができます。

リーフレットが必要な方は、下記窓口または一般財団法人日本建築防災協会ホームページから入手できます。

(http://www.kenchiku-bosai.or.jp/taishin_portal/daredemo_sp/)

なお、流山市では、耐震助成事業により次の補助を実施していますので、ご活用ください。

- ・平成12年以前の在来軸組構法の木造住宅及び昭和56年以前のマンションの耐震診断費用の一部
 - ・平成12年以前の在来軸組構法の木造住宅の耐震改修費用の一部（いずれもこれから実施されるものに限ります。）
- 詳しくは、担当窓口までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

流山市役所 建築住宅課

電話番号 04-7150-6088



地震がおこる前にできること

- **屋内のチェック**
 - 寝室にはできるだけ家具を置かない！ 出入口は避難できるスペースを確保！ 枕元には履き物と懐中電灯を！
 - 戸棚の扉にはロック機能のついたものを！
 - テレビは金具・チェーンなどで固定！
 - カーテンは防火処理を施した厚手のものに！
 - テレビは高いところに置かないように！
 - 玄関や廊下には家具や荷物を置かない！
 - ピアノの対策方法は、専門知識のあるメーカーに問い合わせましょう。
- L字金具で壁に固定！ 重いものほど下に入れる！
- 転倒防止器具で固定！ 上に重いものや危険なもの（ガラスケース等）を置かない！
- 大きな家具は人の出入りの少ない部屋にまとめるように！
- 冷蔵庫などは転倒防止器具で固定！
- 懐中電灯などは、手の届くところに！ 非常時持ち出し品や備蓄品の用意を！
- 吊り下げ式の照明器具はチェーンなどで止める！
- ガラス戸や窓には飛散防止フィルムを！ 食器には滑り止めを！

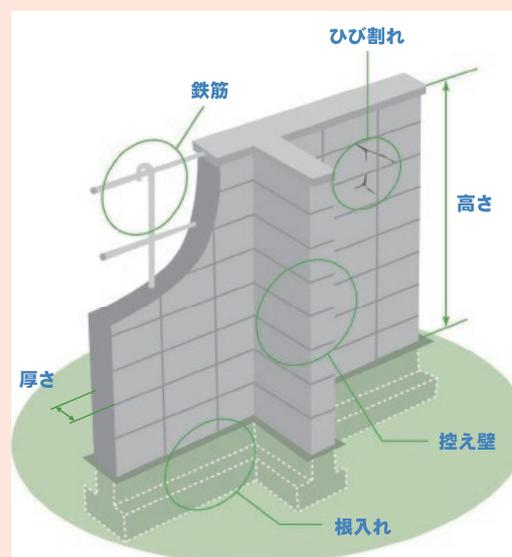
●屋外のチェック

- 倒れやすいブロック塀や門柱等は補強！ 生け垣に変更するのも有効です
- プロパンガスのボンベは、鎖でしっかり（二重）に固定！
- 不安定なアンテナや屋根瓦のゆるみは修理！
- ベランダの植木鉢や物干し等の整理整頓！

避難路沿いのブロック塀の安全確保を

避難路である小学校の通学路沿いのブロック塀等の除去費用に対する補助を実施しています。

ブロック塀の点検のチェックポイント



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
 - 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）
 - 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
 - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
 - 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
 - 5. 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
- <専門家に相談しましょう>
- 6. 塀に鉄筋は入っているか
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改